

まちの話題

町的话题をピックアップしてお届けします。

明治バイソンが優勝しました

6月23日(日)に、志免町の国重要文化財「旧志免鉱業所竪坑櫓」が完成して70年になるのを記念し、近隣市町村の小学生約300人が参加するソフトボール大会「ぼた山カップ」が竪坑櫓を囲むグラウンドで開かれ、20チームが優勝を争いました。

悪天候の中、明治バイソンは勝ち進み、決勝戦は雨でグラウンド状態が悪く抽選となりましたが、運まで味方して見事優勝に輝きました。

主将でエースの坂本陽輝君(志免東小6年)は、「この日は腰が痛くて投げられませんでした。後輩の城谷君が投げに来ておさえてくれました。次の大会は僕がしっかり投げて優勝を目指します」と強く語ってくれました。

最優秀選手に選ばれた城谷直哉君(原田小5年)は「試合の途中から雨がふってきてボールがすべて投げにくかったけど、仲間がしっかり守ってくれたので優勝することができました」と話してくれました。



優勝した明治バイソンの選手たち

宇美ジャイアンツ 3位 ～久原本家カップ久山ライズ 30周年記念大会～

6月1日(土)から、久原本家カップ久山ライズ30周年記念大会が、久山町内で開催されました。36チームが、この大会に臨み、雨が降る中、子どもたちは、泥だらけになりながらボールを追いかけ、4日間を戦いぬきました。

宇美ジャイアンツは、3回戦まで勝ち進み、準決勝で惜しくも敗退しましたが、3位決定戦において5対3で勝ち、見事、3位になりました。



宇美ジャイアンツの選手たち

七夕揮ごう会が開催されました

7月6日(土)に、宇美八幡宮子安館において、宇美八幡宮子安書道大会七夕揮ごう会が開催されました。11回目を迎えた今回も、町内からたくさんの小学生が参加しました。どの子どもたちも、みな真剣な表情で筆を走らせ、各学年の課題を一生懸命に書いていました。



筆先に思いを込めて集中して書きました

宇美町人権問題啓発講演会が 開催されました

7月6日(土)、宇美町立中央公民館大ホールで、第一部にハンディキャップを持つ子どもたちで結成された音楽バンド「ピュアハート」による演奏、第二部にTBSテレビ報道局解説・専門記者室長の杉尾秀哉氏を迎え「報道と人権～東日本大震災をふまえて～」と題して講演会が開催されました。

第一部では、ピュアハートの心温まる演奏により涙を流される来場者の方もおられました。

第二部では、杉尾氏自らが東日本大震災被災地を訪問した際の状況、現場に行かなければ知り得ない貴重なお話や、報道に関わる様々な人権のお話を聞くことができました。



「ピュアハート」の演奏や杉尾さんの言葉に、人権の大切さを改めて認識させていただきました

一人ひとりの人権を大切に 「宇美町人権問題啓発強調月間」 街頭啓発を実施しました

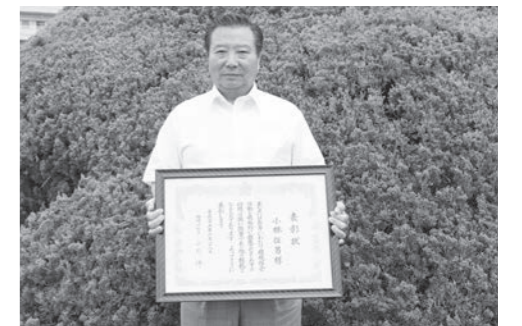
福岡県と県内の市町村では、例年7月を「同和問題啓発強調月間」として位置付け様々な取り組みを行っています。本町においても、7月の「同和問題啓発強調月間」、「社会を明るくする運動強調月間」、「青少年の非行・被害防止全国強調月間」の3つの強調月間を「宇美町人権問題啓発強調月間」と定め、7月2日(火)、JR宇美駅周辺で、宇美町及び宇美町人権教育推進協議会による街頭啓発を行い、町民に広く人権尊重の大切さについて呼びかけました。



多くの方に啓発を行いました

炭焼二区区長 小林征男氏が 福岡県環境保全功労者知事表彰を受賞しました

6月28日(金)に、福岡県庁において平成25年度福岡県環境保全功労者知事表彰の表彰式が行われ、炭焼二区区長の小林征男さんが表彰されました。小林さんは、平成7年から、炭焼地内の環境美化活動を実施しており、現在では週1回程度道路、公園、公共施設の清掃及び植栽活動を行っています。また、その姿を見た町民の中から、環境美化活動に参加する方も現れており、地域住民の環境美化に対する意識の向上にも貢献されていることが認められての受賞となりました。



環境保全にご尽力されている小林さん